

小中学生向け教材案

タイトル案:

「見えないけど大きな問題 ～PM2.5・マイクロプラスチック・CO₂ってなんだろう？」

■ 1 時間目: 目に見える vs 見えない環境問題

● 導入ワーク: クイズ「どっちがわかりやすい？」

問題	A	B	答え
空がスモッグで白くなった	○	A	
海の水にプラスチックが溶けている	○	A	Aの方がすぐにわかる

▶ 先生の説明: 「人は“目に見えること”にはすぐに反応できる。でも“見えないもの”には危機感をもちにくいんだ。」

■ 2 時間目: PM2.5 で青空が戻った北京の話

● スライドや動画で紹介:

- 北京オリンピック前に自動車を止めたら、青空が戻った
- 1 週間で効果が出た

👤 感想共有:

- 「すぐ変わるならやってみたいと思った」
- 「日本でもできるのかな？」

■ 3 時間目: CO₂はどうして問題なの？

🔍 わかりやすく説明:

- CO₂自体は毒じゃないけど、たくさん出すと地球が暑くなる
- 暑くなると:
 - 台風が強くなる
 - 水不足になる
 - 作物が育ちにくくなる

📌 活動: 「2030 年の天気を想像してみよう」

- 40 度の日が増える
- 雨が集中して降る
- 自分の街のハザードマップを見てみよう

■ 4 時間目：マイクロプラスチックって何？

 写真や模型で見せる：

- 小さなプラスチックが魚の中から出てきた
- 雲の中、雪の中からも見つかった
- 人の血液にもあることがわかってきた

 ディスカッション：

- どうしてこんな小さなものが大問題なの？
- 自分たちにできることって？

■ まとめ：じゃあ自分にできることって何だろう？

 例：

- ごみを減らす、リサイクルをがんばる
- 電気を大切に使う（エアコンの温度、照明）
- 近くに行くなら車じゃなくて歩く・自転車に
- 家族で「もったいない」を話す

■ 最後のメッセージ：

「地球の問題ってすごく大きいけど、
小さな行動がつながれば、未来は変えられる。
今、自分ができることを見つけてみよう。」

■ 教材化・プリント例（必要なら PDF 化します）

- イラスト入りのワークシート
- 子ども用語でやさしく解説
- 家族で考える宿題つき（「うちの CO₂チェックシート」など）